



くらしの相談 担当者レポート No 26

よしのひでくに

吉野 英国



59期前期の主な取り組み紹介

大分類	取り組みテーマ	テーマに対する取り組み内容	進捗状況
I、安心して子を産み 育てられるまちづくり 	<u>1.子育て環境の充実</u>	◎待機児童解消 ・こども園の ITC 整備促進による 保育士の多忙化解消	75%
	<u>2.教育環境の充実</u>	◎GIGAスクール構想の推進 ・オンライン授業の環境整備 ◎外国人への教育環境の促進 ・日本語を教える環境の向上	75%
	<u>3.医療体制の維持、充実</u>	◎コロナ禍への対応 ・ワクチン接種体制の確立 ◎高齢者介護 ・コロナ禍への対応充実	50%
II、安全に生活できる まちづくり 	<u>1.防犯対策の充実</u>	◎防犯カメラの設置促進 ・公共施設への設置	75%
	<u>2.防災対策の充実</u>	◎防災情報の一元化 ・洪水、土砂災害、マップ等の拡充	75%
	<u>3.交通安全</u>	◎自転車利用環境の向上 ・とよた快適自転車プランの推進・周知	50%
III、快適に暮らせる まちづくり 	<u>1.交通網の整備</u>	◎主要幹線道路整備の早期完了 ・国（国土交通省）への要望	50%
	<u>2.公共交通機関の充実</u>	◎バス利用の拡充と地域タクシーの活用 ・高齢者への啓発と割引	50%
IV、活気あふれる まちづくり 	<u>1.転出超過対策</u>	◎タイムリーな住宅地供給 ・計画的な区画整理について提言	50%
	<u>2.カーボンニュートラル推進</u>	◎ゼロカーボンシティの推進 ・推進体制構築と市民への周知	25%

くらしの相談や議員としての取り組み紹介

市へ提言（一般質問を実施）

1、ゼロカーボンシティの推進体制

私：CO₂排出量実質ゼロの目標達成はかなり難しい、他自治体との連携を密に取組むべき？

市：現在「ゼロカーボン市区町村協議会」を設立し国が示した、主要8分野の課題などを集約しながら取組んでいます。

ゼロカーボンシティの推進
に向けた取組について質問します。



2、ゼロカーボンシティに向けた取り組み

私：脱炭素型の交通システムを確立にさせるため、次世代自動車の普及促進を行っていますが、その成果は？

市：令和3年度の中間目標である普及率38%に向けては遅れている状況です。

私：水素で走る新型のミライを公用車として導入した他、超小型EVシーポッド11台を導入するとの計画も聞いており、車のまち豊田市のPRにも成る事から、今後もインフラの導入も合わせた普及促進をお願いします。

市が導入した次世代自動車



コロナ禍における高齢者支援体制の強化について質問します。

1、高齢者を取り巻く環境への取組

私：今後の介護施設整備計画が示されているが、コロナ禍の現状を踏まえ、これまで培ってきた感染症に対応する考えを新規の施設整備に折り込む事が必要では。

市：感染症発生時のゾーニング（区画分け）が円滑にできるか、日常の感染防止に適した構造か、など運用面での工夫がされているか、など、国の感染対策の手引き等を参考に評価し、適切な事業を採択していきます。

2、高齢者施設への感染症対策支援

私：高齢者施設でのワクチン接種では、一部の職員は対象外だったため、職員の接種枠拡大が必要では。また、施設入所者が65歳未満の場合への対応も必要では。

市：一体的に接種する必要があるため、入所施設本体の職員と同じように、また、65歳未満の入所者についても、他の入所者同様に、早期接種できるように対応します。

私：市内の高齢者入所施設の職員全員を対象にワクチン接種後コロナの感染状況が落ち着くまでは、スクリーニング検査を継続すべきである。

市：地域の感染状況やワクチン接種状況、国の動向等を見ながら、県と連携してスクリーニングの必要性を判断します。



後日、スクリーニング検査の延長が決定しました。

政策要望

組合員さんからの声を市長へ
政策要望書として提出
令和3年8月19日

私



<要望内容>

24 カテゴリー
34 項目

令和4年度に向けた
政策要望



私の担当：環境と福祉の分野

1 医療の危機管理体制の取組

①ワクチン接種の協力支援体制の構築

2 カーボンニュートラルへの取組

①産学官連携によるCO₂排出量実質ゼロの研究

②次世代自動車の普及促進へのインフラ整備

③エネルギーを生みだす施設への転換

3 高齢者の見守り支援

①IoTを活用した独居老人の見守り

